

# クローバー

## 雑感「見返り坂にて」

最近、「断捨離」、「終活」などの言葉をよく耳にします。若い頃には気にも留めなかった、これらの言葉が耳に、目に着くようになってきたのは歳をとってきたという事でしょうか。同様におくやみ欄を見ながら、先輩だけでなく後輩の旅立ちを見送ることが多くなってきたのもそんな年齢になってきたかと実感する今日この頃です。患者さんの脳卒中治療にあたる毎日、「明日は我が身」と思うのも…。人の逝去の報を聞いた時、日本では多くが「なんで死んだのか」と問うのに対し、外国では「どう生きてきたのか」とその人の人生を問うと聞きます。

古代インドでは、<sup>シジュウキ</sup>「四住期」といって人生を4つのステージに分け、それぞれのステージにおける規範に即した生き方をする事で幸せな人生を送れるとする考えがあります。第1ステージは<sup>ガクショウキ</sup>学生期(8～25歳頃)と言い、目上の人の元で身体と精神を鍛え、生きるための術を学ぶ時期で、一人では解決できないことも周りの大人のサポートを受け、視野を広げながら人生を切り開くノウハウを身に着けることが重要と教えています。第2ステージは<sup>カジュウキ</sup>家住期(25～50歳頃)と言い、一家の大黒柱として働き、仕事で成果をあげるために頑張る時期と考えられます。第3ステージの<sup>リンジュウキ</sup>林住期(50～75歳頃)には家族や社会のために働いた人もその役目を終え、社会的な義務を終え自分の内面と向かい合い成熟を目指す段階に至ります。定年を迎えて自分の本当にやりたいことを見つけ、充実した人生を送るためのチャンスをつかむ時です。「人生の楽園」というテレビ番組がうまく林住期を表していると思います。さて最後の第4ステージ<sup>ユギョウキ</sup>遊行期(75歳～)は人生の終焉に向けて準備をする時期です。人生にお

ける悔いをなくし、身辺整理を行う「終活」をしながら「あー楽しい人生だったなあ」と我が人生を振り返ることができるように、自分自身と向き合いながら行動に移して行けたらいいですね。

自分の人生を振り返ってみると、導きと教えの言葉がいくつかありました。学生期の祖母からの「情けは人の為ならず」は自分の医者としての原点です。家住期にはパワハラに近い先輩からの厳しい言動に耐え、先の見えない時に救ってくれた言葉、「長らえばまたこのごろやしのばれむ 憂しと見し世ぞ 今は恋しき」(藤原清輔朝臣)で気持ちを切り替え、壁にぶつかった時には「現在窮乏 未来有望」と唱えました。またこの時期、家住期とは裏腹に家に帰ることもままならず臨床と研究に多忙を極めました(多くの方々が若い頃はそうだったでしょう)。林住期～遊行期になって「人生下り坂、最高」と声を張り上げながら、「ボケてたまるか」と唱えながら、常に新しいことに興味を抱き貪欲に学びましょう。どんな仕事でも毎日、学ぶことはたくさんあると思います。「サンデー毎日」と嘯く定年後の人生を送る人にも日々新たな変化と対応がありましょう。儒学者、佐藤一斉が記した言志四録に「少にして学べば壮にして為すことあり。壮にして学べば老いて衰えず。老いて学べば死して朽ちず。」があります。そう、人生はいつも学びです。

最後に、皆さんで「コロナ退散」。

副院長

池田 清延



## 第4回親子脳卒中教室をオンライン開催しました！

新型コロナウイルス感染症が収束しない厳しい状況下で、何とか啓発イベントを開催できないかと検討し、今年はオンラインによる「親子脳卒中教室」を開催しました。

今回も対象を小学4年生～小学6年生の児童とその保護者として、子供でもわかりやすい内容を企画しました。

全3部構成とし、事前収録した講義、寸劇、病院案内をYouTubeで配信しました。

67組の申し込みがあり今年も大好評に終わりました。

来年こそは新型コロナウイルスが収束し、これまでどおりのイベントが開催できることを願うばかりです。

次回も子供から大人まで楽しく脳卒中について学んでもらえるよう企画いたしますので、是非、ご参加ください。



### 視聴後にたくさんのコメント頂きました！

おもしろかった。脳の病気に感心持ちました。どれもわかりやすかった。劇が面白かった。患者さんを救急隊の人が運ぶ時あまりにも重そうなのに大爆笑してました。

疑いのある症状が出た時、迷わず病院に行く、救急車を呼ぶ事が大事と学べました。

脳卒中について、親子で学ぶことが出来ました。とても分かりやすく、日常生活では、子供にとって意識することがない知識を得て、今後万が一の際に役立つ事と思いました。

親子脳卒中教室に参加できてよかった。症状の観察や早く病院に行くことが大切だとわかりました。企画ありがとうございました。

脳卒中は死につながる病気、はじまりのサインに気づけば命は助かることを教えてもらいました。

周りを気にせず、話し合いながら閲覧でき、親子でコミュニケーションが取れた。

コロナが収束した際には、病院で実際の雰囲気を感じながら教室に参加させていただければと思います。とても勉強になりました。どうもありがとうございました。

第一部は画像でも風船が割れて怖かった。脳卒中の手術のことがよくわかってよかったです。

第二部はお医者さんがドロドロの血栓を退治するときに面白かった。あんな風にとるんだとわかりました。救急車の呼び方がわかりました。



## 連携登録医のご紹介

今回は、白山市田中町の  
「安原医院」をご紹介します。

院長 安原 稔 先生

大正13年、現院長安原稔先生の御爺様の代よりおよそ100年あまり地元のホームドクターとして地域に密着した医療を提供され、園医、校医、産業医としても地元にご貢献されています。金沢脳神経外科病院の開設当初より、緊密な医療連携を行っており、以前は職員の健康診断も担っていただいていたました。

### 安原先生より

急性期から慢性期、終末期まであらゆる疾患に対し、地域の「かかりつけ医」を目指しております。患者様へのわかりやすい説明、温かい医院として今後も地域医療に貢献していきます。

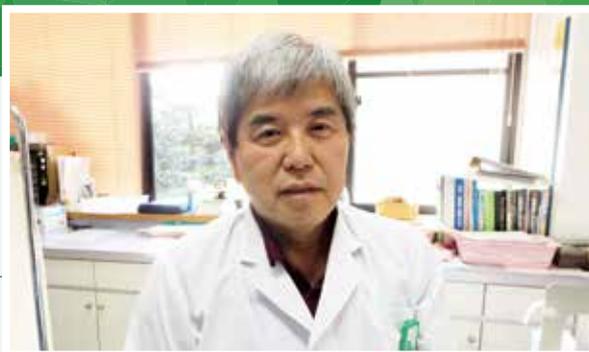
### 取材スタッフより

柔らかな物腰の大柄な先生から、患者さんを包み込むようなオーラと優しさを感じました😊



### 連携医療医とは

地域の医療機関と金沢脳神経外科病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。



【専門医資格】日本肝臓学会 肝臓専門医  
日本消化器学会 消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医  
【略 歴】昭和57年4月 金沢医科大学病院循環器内科助手  
平成2年1月 金沢医科大学病院消化器内科講師  
平成3年1月 安原医院副院長  
平成4年11月 安原医院院長



【診療科】内科・胃腸科(消化器内科)  
特定健診 事務所健診 がん検診  
予防接種 往診・訪問診療

【住 所】白山市田中町242

【電 話】076-275-2008

【診療時間】

	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	○	○	○	/	○	○	/
13:30-18:00	○	○	○	/	○	/	/
13:30-15:00	/	/	/	/	/	○	/

(13:30-16:00は往診で不在のことがあります。)

休診日：木曜日、日曜日、祝日、

8/14 - 8/16、12/30 - 1/3

## 救急症例検討会をハイブリッド方式で開催しました。

令和3年度第1回目の救急症例検討会をオンラインと当院でのハイブリッド方式で開催しました。

オンラインでの開催は、よい面ばかりではないですが、これまで時間や距離の制約で参加が難しかった方々にむけても非常に有用な方法となりそうです。

アフターコロナにおいてもハイブリッド方式は主流になってくると思いました。



### 救急隊員から貴重なご意見をいただきました!

- 小勉強会のスライドをみて、改めて小児の頭部外傷の対応について確認出来ました。
- 病院到着後の救急隊に対してのお話は聞けることがないので、とても貴重な意見だと思いました。
- 普段は距離的な問題で行けないが、オンラインなら参加できるので大変ありがたいです。
- いつも心良く受け入れをしてくれて感謝しています。
- 管内の脳神経外科専門病院として普段から快く傷病者を受け入れて頂いています。
- 現地に行かなくても参加できるのは非常にありがたいです。今後も同形式での開催を希望します。
- 新型コロナウイルスの影響もあり、オンライン開催はとて良いものと思いました。次回も参加させていただきたい。
- 自宅で参加できたので、子供をみながら受講できるので、とても参加しやすくて良いと思います!



## 新型コロナウイルスおよびインフルエンザ等の感染症対策について

(令和3年12月1日現在)

当院では、引き続き入院中の患者さん・医療従事者等を感染から守るために、院内の感染対策の徹底を強化しています。ご理解・ご協力をお願いします。

(病院長)

対応に関しては常時変更となる可能性があります。最新情報は当院のホームページに掲載しています。



病院  
理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様へ、より高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。



日本医療機能評価機構 認定病院

医療法人社団 浅ノ川

金沢脳神経外科病院

石川県野々市市郷町262-2

TEL:076-246-5600 FAX:076-246-3914

<http://www.nouge.net>

金沢脳神経外科病院 広報誌 第80号 発行:広報委員会  
2021年12月20日発行